

生きている値打ちがあるから生かされている

「あなたはたった一つの尊い命をもってこの世に生まれた、大切な存在です。」

「生かされているのですから素直に有り難いと思ひましょう。生きている値打ちがあるから生かされているのですもの。」

「生きるということは、死ぬ日まで自分の可能性をあきらめず、与えられた才能や日々の仕事に努力しつづけることです。」これらの言葉は、いずれも瀬戸内寂聴（作家、天台宗の尼僧）氏の言葉だ。

「人間は善悪両方を持っています。それを、自分の勉強や修行によって、善悪の判断をし、悪の誘惑に負けずに善行を積んでいくことが人間の道なのです。」（瀬戸内寂聴）

君たちは、毎日決まった時間に起き、身支度を整えて、遅刻せずに登校することがそれだけで社会に出る準備になっている。そして6時間の授業を受ける。そんな地道な取り組みが「善悪の判断をし、悪の誘惑に負けずに善行を積んでいくこと」につながっている。君たちは日々「人間の道」を実践しているという誇りを持って、もっと胸を張って生きていい。

BTS（韓国出身の世界的アーティスト）！！

BTS が 9 月 20 日午前（日本時間同日夜）、米ニューヨークの国連本部で、SDGs（持続可能な開発目標）の関連イベントに登壇した。「可能性と希望を信じているなら、予想外の状況でも道を失うのではなく、より新しい道を見つけることと信じて疑いません。僕たちが選択する方法のうち、完璧ではないものも確実にあると思いますが、だからといってできることは何もないだろうとは思っていません。重要なのは、変化の前でどのような選択をするかだと思います。僕たちが UN に来るという知らせを聞いて、本当にたくさんの方々がワクチンを接種したのか気になっていました。この場をお借りしてお話すると、僕たち 7 人は全員ワクチンを接種しました。」（<https://news.yahoo.co.jp/articles/93823878a31f4b1ee98691a68bd10bbf95efd34c>）

変化におびえるよりも、それを歓迎しながら前進する必要性を説いた。何もかもが、コロナによって変わってしまった。これまで懸案となっていたが、なかなか進展しなかったことが、やらざるを得ない状況になり一気にいい方向に向かったことも少なくない。それが「変化を歓迎しながら前進する」ということなのだろう。しかし、一度しかない高校時代にさまざまな形で制限が加わっていることも事実だ。修学旅行、交流体育祭、交流文化祭、部活動……。そんな中、工夫して少しでも通常に近い形で実施することが、「より新しい道を見つけること」だ。「変化の前でどのような選択をするか」だ。

完璧でなくてもいい。挑戦は常に尊い。

緊急通報システム、防犯カメラが運用開始

安全安心な教育環境を万全に整えることがより一層本校の重要な課題になった。危機を未然に防ぐことができれば、安全安心は保たれる。しかし、何が起きても不思議ではない世界が到来してしまった以上、危機を未然に防ぐ努力をしつつ、危機にいかに対応するかということがこれまで以上に重要になっている。そこで教室棟各階の廊下に緊急通報用の電話を設置した。急病等の緊急事態の際、少しでも早く対応できるよう、誰でも連絡できるようになっている。受話器を上げれば、それだけで職員室に直通する。この緊急通報システムを使用する場面が無いことに越したことはないが、そういう場面に遭遇した際は、躊躇せずに通報してほしい。君たちの命を守るために、事務室に無理を言って、限られた学校予算をそこに投入した。また、PTA のご協力により、校門付近を撮影・記録する防犯カメラを設置した。

We keep on challenging. 挨拶日本一の高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩